

# 自然科学的分析一覧

白鳥文雄

## 1 はじめに

青森県教育委員会がいわゆる「行政発掘」をはじめてから今年度で30周年を迎え、2002年3月現在で刊行した青森県埋蔵文化財調査報告書（以下、県埋文報と略す。）も338集を数えるにいたった。

報告書の記載内容は、当然のことながら、考古学を専門領域とする担当者による遺構・遺物に関する事実記載及び分析・考察が主体であるが、自然科学領域の研究者による遺跡の自然環境や出土遺物の素材・年代測定などの分析も重要な要素となっており、近年、本県の報告書においても自然科学分析の占めるページ数が増加している。

自然科学的研究方法の考古学への応用は、土器・石器中心の研究だけでは知り得なかった情報（目に見えない隠れた情報）を明らかにすることによって、古代人の生活をより垣間見る機会を与えてくれているが、その反面、これら貴重な情報に対し考古学サイドの研究者がどういう姿勢で対応していくかが問題となってきている。

特に全国的な注目を集めた「三内丸山遺跡」の調査時から、考古学分野はもとより他領域の多くの研究者が自薦・他薦を問わず種々のテーマを携えて研究に参加され、最近はさらに多くの自然科学分野の研究者が県内の発掘調査に関わる研究を進めるにいたっている。

これら自然科学的分析は考古学においても多大な成果を上げているが、このような多くの研究者の参加は、ひとつのテーマに対しても分析法や処理方法における過程の違いなどが見られるようになり、成果（データ・分析値など）を一概に比較できない状況になってきている。

このため、まず県内の自然科学的分析結果を整理・検討する必要性があると考え、その初めとして、個々の成果を集成・再考する前段階の基礎資料として一覧表を作成することとした。

これまで本県で、自然科学的分析の成果を集成したものとしては、木村真明氏による「青森県放射性炭素年代測定結果一覧表」（注1）と木村鐵次郎氏・小田川哲彦氏・坂本真弓氏によるデータ（CD-ROM）（注2）がある。特に後者は市町村刊行報告書も含め、一部欠落（調査漏れ）がみられるものの、県内の自然遺物分析についての多くを網羅している労作である。

本稿では、一覧表の記載とともに、これまでの考古学サイドの対応と問題点を述べてみたい。

注1 研究紀要 第1号 青森県埋蔵文化財調査センター 1996

注2 第50回 埋蔵文化財研究集会 試料データベース 埋蔵文化財研究会 2001

## 2 自然科学的分析に対する考古学研究者の姿勢

まず、これまでの報告書における自然科学的分析への対応はどうであったのだろうか。

考古学の研究者は、自然科学的手法の分析結果を無批判に受容してきた傾向が強い。これは筆者も含めて、理科系が不得手という人が多いという理由もあるかと思われるが、依頼した分析についても結果だけを重視し、分析法についてはあまりにも関心を払わなすぎたきらいがある。

また、この分野への分析を依頼したら「何か、良い情報が得られるのではないか」という丸投げに似た感覚もあったのではないだろうか。

このため、今になって考えてみれば少し突飛な分析結果をもそのまま受け入れてきた感がある。

最近ではこれら自然科学分野の研究者間で、分析結果並びに方法論などについてお互いに批評がなされ始めているが、これとて、ある結果及び事象を誰かが批判すれば、その批評成果をまた考古学の研究者は鵜呑みにしてしまう傾向があるようである。これはとりもなおさず、どちらが正論なのかという判断が付かないからなのではなかろうか。

考古学の研究者は、このような傍観的な立場に留まらず、少なからず科学的分析法について興味を持って、学習すべき体質に改めなければならないのではないだろうか。

また、本県だけではないが、長年にわたり報告書の巻末に「自然科学的分析」として一章をくくり、一括掲載するだけで、「調査結果のまとめ」にも内容が反映されていない報告書も多く、分析を行った研究者の不評をかっているのも事実である。

さらに、報告書の章及び節の構成から、依頼原稿における「タイトル」・「論文」名が変更されているものが相当数見られたが、これも各執筆者の了解を得て行ったものは少ないとと思われ、今後、安易な分析タイトルの変更は慎むべきと考える。

このような考古学サイドのこれまでの取り組みに対し、自省も込めて提案するものである。

### 3 分析における問題点等

依頼頻度の高い2項目について気になる点を列記する。

#### (1) 石器の石質鑑定

石質鑑定は肉眼的観察によるもので、長い間、地質学研究者の松山力氏、山口義伸氏に依頼して行つてきたが、近年の発掘量の増加に伴い、同業の佐々木辰雄氏にも依頼し、膨大な石器の鑑定をお願いしている。

最近気付いたことは、石材の種類が増加していることである。基本的な石種は同様であるが付帯的な「○○質」が多くなった傾向がみられる。これについて何かの機会にどなたか、本紀要にでも「県内の石材」について説明していただけないだろうか。お断りしておきますが決して先生方を非難しているわけではないことを明記しておきます。

#### (2) $^{14}\text{C}$ 年代測定

長期にわたり学習院大学の木越邦彦氏に依頼してきた $\beta$ 線計数法と、最近の加速器による質量分析法による測定があるが、後者は分析試料が少量ですむことや測定期間が短いことから近年、応用が進んできている。ただし、前者が後者より劣っているということは周知のとおりであり、試料により方法を選別すべきものと考える。

また、近年は同位体比やこれによる補正年代値の記載も多くなり、暦年代の付記も行われている。今後必要とされるデータとしては、 $^{14}\text{C}$ 年代と補正 $^{14}\text{C}$ 年代及び同位体比による $\delta^{13}\text{C}$ 値であることから、当該年代測定の依頼においては、上記数値の併記をお願いすべきである。

その他として、中・近世の試料の $^{14}\text{C}$ 年代測定は、縄文時代などとは異なり、実年代として論じられる短い時間尺の中にあり、測定誤差の中に時代の区切りが含まれてしまっている。したがって、

いたずらに中世のものか近世のものかを探る手段として測定依頼するのはいかがなものであろうか。  
(3) 上記2項目以外にも、黒曜石の産地基礎データの増加による比定地の再検討、須恵器の胎土分析における生産窯ごとの分析の可能性など、問題点は多々あるが、紙面の都合上、稿を改めて述べたいと思う。

#### 4 一覧表について（凡例に代えて）

今回、一覧表に掲載した内容は青森県教育委員会刊行の埋蔵文化財調査報告書に記載されたものである。市町村教育委員会から刊行された報告書にも大きな成果がみられるが、時間及び紙面の都合から割愛させていただいた。

記載内容については、筆者が単独で抽出を行い確認作業を二度行ったが、見落としの可能性もあることをお断りしておく。

○集番号： 報告書の刊行順に付されたシリーズ番号（第○集）を使用し、この通し番号順に記載している。欠番となっているものは記載がみられなかったものである。

○遺跡名： 遺跡地名のみを記載した。また末尾のローマ数字は複数冊刊行の報告書のタイトルに付されたものである。（××遺跡Ⅲ等）

また、複数の遺跡による合本については、項目に合致するように、その遺跡名も付した。所載遺跡全体に及ぶもの（地質など）には付していない。

○種類： 分析・鑑定・同定などの種類を記した。また、依頼頻度の高いものはその名称（石質鑑定など）を記している。

○内容： 分析内容または対象遺物などを記した。本来であれば、分析方法をも記載すべきであるが、表の制限もあり、一部を除いて割愛した。

○分析名： 報告書記載の論文名及びタイトル名を記した。目次と本文中の記載が異なっているものについては、本文の名称を記した。また、章または節にタイトル名が付されているものについては、妥当と思われる方の名称を採用した。

○分析者： 分析者の氏名と依頼または報告時の所属及び職名を記した。複数名での報告についてはなるべく記載するようにしたが、特に大勢の場合については代表者名だけを記載したものもある。

氏名の記載には失礼のないように万全を期したつもりであるが、誤りがある場合はお許しいただきたい。

○備考： 分析試料点数・特記事項等について記載した。また、現在入手が困難な昭和50年代の報告書についてはなるべく成果を記すこととした。

自然科学分野の研究法について学習できる文献を下記に紹介する。

『考古学のための化学10章』 馬淵久夫、富永 健 編 東京大学出版会 (1981)

『続 考古学のための化学10章』 馬淵久夫、富永 健 編 東京大学出版会 (1986)

『新しい研究法は考古学になにをもたらしたか』 第3回「大学と科学」公開シンポジウム組織委員会編 クバプロ (1989)

『改訂版 新しい研究法は考古学になにをもたらしたか』 田中 琢、佐原 真 編 クバプロ (1995)

『考古学と物理化学』 東村武信著 學生社 (1980)

『年代測定概論』 兼岡一郎著 東京大学出版会 (1998)

## 自然科學的分析一覽

青森県教育委員会報告書から

集番号	遺跡名	種類	内容	分析名	分析者	備考
		自然環境 地質 年代測定 热残 留磁気 年代測定 14C $\beta$ 線計数法	堅穴住居跡 近野遺跡からほど換土の熱残留磁気測定 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	堅穴住居跡の分析と対比	沢田庄一郎 県立青森西高校教諭 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	陸下火山灰について記載。2種あり、一つは十和田a、他の不明 11～12世紀について記載。県内初の試み 第2次調査分5点 ドンクリ BP2490 ± 95 1540BC、トチ BP3330 ± 100 1380BC、BP1450 ± 90 AD500、BP1500 ± 70 AD450、BP1640 ± 80 AD310
34	水木沢	自然環境 地形・地質 樹種同定 炭化材 同定 植物・遺体	地形 地質 石器等の石質 遺跡周辺の地理的環境	地質概要	木越邦彦 学習院大学教授 山口義伸 県立田名部高校教諭 金子浩昌 早稲田大学講師 川村真一 県立金木高校教諭 奈良岡洋一 県立藤崎芸芸高校実習講師	池田謙氏・奈良正義氏からの贈・指導 池田謙 県立田名部高校教諭 土坑出土 イネ・ヒエ
35	石上神社	植物遺体	植物性炭化物	地形・地質の概要	山口義伸 県立田名部高校教諭 池田謙 県立青教育事務所指導主事 佐藤巧 県立郷土館研究員 松山力 県立八戸高校教諭 佐藤巧 県立郷土館研究員 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 奈良岡洋一 県立藤崎芸芸高校実習講師 金子浩昌 早稲田大学講師 木越邦彦 学習院大学教授	土坑出土 イネ・ヒエ
36	むつ小川原関係 検報	自然環境 地質 石質鑑定	自然環境 層序・火山灰	層序	佐藤巧 県立郷土館研究員 松山力 県立八戸高校教諭 佐藤巧 県立郷土館研究員 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 奈良岡洋一 県立藤崎芸芸高校実習講師 金子浩昌 早稲田大学講師 木越邦彦 学習院大学教授	79点 クリ23、スキ22、アスナロ14他 平安時代住居出土 炭化米 平安時代 44号住出土 「熊角製品」・馬骨 1点 2号住跡炭化材 BP1430 ± 75 BC310
37	青森市三内	自然環境 地形・地質 石質鑑定	自然環境 層序・火山灰 樹種同定 炭化材 同定 骨角器・歯骨 年代測定 14C $\beta$ 線計数法	昭和51年度青森県内の遺跡から出土した炭化材の樹種について 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	佐藤巧 県立郷土館研究員 甲田光明 県立八戸高校教諭 佐藤巧 県立郷土館研究員 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 奈良岡洋一 県立藤崎芸芸高校実習講師 金子浩昌 早稲田大学講師 木越邦彦 学習院大学教授	79点 クリ23、スキ22、アスナロ14他 平安時代住居出土 炭化米 平安時代 44号住出土 「熊角製品」・馬骨 1点 2号住跡炭化材 BP1430 ± 75 BC310
38	熊沢	自然環境 地形・地質・層序	自然環境 地形・地質・層序	昭和51年度青森県内の遺跡について 周辺の地形・地質	佐藤巧 県立郷土館研究員 甲田光明 県立八戸高校教諭 佐藤巧 県立郷土館研究員 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 奈良岡洋一 県立藤崎芸芸高校実習講師 新治鉄夫 日本国金属学会付属金属博物館参与 多田正 新日鐵金石製鉄所	13点 付記として記載。ほとんどがクリ 依頼した旨の記記はあるが、記載なし 95点 附録に取録 31点 平安時代住居出土 米・豆類 遺物実見後の所見として記載
39	源常平	自然環境 地形・地質・層序	自然環境 地形・地質・層序	昭和51年度青森県内の遺跡について 源常平遺跡の地形的環境	甲田光明 県立八戸高校教諭 佐藤巧 県立郷土館研究員 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 奈良岡洋一 県立藤崎芸芸高校実習講師 新治鉄夫 日本国金属学会付属金属博物館参与 多田正 新日鐵金石製鉄所	13点 付記として記載。ほとんどがクリ 依頼した旨の記記はあるが、記載なし 95点 附録に取録 31点 平安時代住居出土 米・豆類 遺物実見後の所見として記載
40	高館	自然環境 地形・地質 樹種同定 炭化材 同定 種子 鑑定 鉄製品・鉄滓	自然環境 地形・地質 樹種同定 炭化材 年代測定 14C $\beta$ 線計数法	昭和51年度青森県内の遺跡から出土した炭化材の樹種について 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 沢田敦 県東青教育事務所指導主事 沢田敦 県東青教育事務所指導主事 木越邦彦 学習院大学教授	16点 クリ、ケヤキ 3点 捨み込み 枝に記載。BP4320 ± 220 BC2370、 BP4410 ± 180 BC2460、BP3970 ± 120 BC2020
42	むつ小川原関係 検報	自然環境 地形・地質 石質鑑定	自然環境 地形・地質 年代測定 14C $\beta$ 線計数法	昭和51年度青森県内の遺跡から出土した炭化材の樹種について 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 沢田敦 県東青教育事務所指導主事 沢田敦 県東青教育事務所指導主事 木越邦彦 学習院大学教授	16点 クリ、ケヤキ 3点 捨み込み 枝に記載。BP4320 ± 220 BC2370、 BP4410 ± 180 BC2460、BP3970 ± 120 BC2020
43	下北原発関係 分布	石質鑑定	分析 火山灰 鑑定 鉄滓	遺構内堆積土中の火山灰について	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 沢田敦 県東青教育事務所指導主事 沢田敦 県東青教育事務所指導主事 木越邦彦 学習院大学教授	遺物実見後の所見として記載
44	羽黒平	自然環境 地質 石質鑑定	自然環境 地質 分析 火山灰 鑑定 鉄滓	遺跡周辺の地学的環境について	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 沢田敦 県東青教育事務所指導主事 沢田敦 県東青教育事務所指導主事 木越邦彦 学習院大学教授	遺物実見後の所見として記載
45	杉の沢	自然環境 地質 石質鑑定	自然環境 地形・地質 分析 鉄滓 同定 炭化材	近野遺跡の地学的環境について	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	5点 新日鐵金石製鉄所で分析
46	松元	自然環境 地質 石質鑑定	自然環境 地形・地質 分析 花粉 同定 炭化材	近野遺跡の地学的環境について	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	5点 新日鐵金石製鉄所で分析
47	近野	自然環境 地形・地質 石質鑑定	自然環境 地形・地質 年代測定 14C $\beta$ 線計数法 樹種同定 炭化材 分析 花粉	近野遺跡の地学的環境について 花粉分析からみた遺跡周辺の自然環境について	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	2点 BP2670 ± 120 BC1720、BP3160 ± 190 BC1210 107点 編文中期生居部材等 ほとんどがクリ材 編文時代の植生
48	むつ小川原関係 検報	石質鑑定	石質鑑定	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書 青森市近野遺跡から出土した炭化材の樹種	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	2点 BP2670 ± 120 BC1720、BP3160 ± 190 BC1210 107点 編文中期生居部材等 ほとんどがクリ材 編文時代の植生
49	細越	石質鑑定			木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	2点 BP2670 ± 120 BC1720、BP3160 ± 190 BC1210 107点 編文中期生居部材等 ほとんどがクリ材 編文時代の植生
50	むつ小川原関係事前調査	石質鑑定			木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	2点 BP2670 ± 120 BC1720、BP3160 ± 190 BC1210 107点 編文中期生居部材等 ほとんどがクリ材 編文時代の植生
51	桔梗野工業用地地盤調査	石質鑑定			木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	2点 BP2670 ± 120 BC1720、BP3160 ± 190 BC1210 107点 編文中期生居部材等 ほとんどがクリ材 編文時代の植生
52	大平	石質鑑定	石質鑑定	遺跡周辺の地学的環境について	木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 池田謙 県東青教育事務所指導主事 池田謙 県教育センター指導主事 木越邦彦 学習院大学教授 鳴倉巳三郎 元奈良教育大学教授 新戸謙一郎 県立三沢高校教諭	2点 BP2670 ± 120 BC1720、BP3160 ± 190 BC1210 107点 編文中期生居部材等 ほとんどがクリ材 編文時代の植生











集番号	遺跡名	種類	内容	分析者		備考
				分析名	分析者	
112	上尾駁1/A	自然環境 石質鑑定	遺跡周辺の地形と層序	小林和彦 山口義伸 佐藤巧	八戸市教育委員会学芸員 県立農文化財調査センター 八戸市立高校教諭	
113	上尾駁1/C	自然環境 石質鑑定	遺跡周辺の地形と地質	小林和彦 山口義伸 佐藤巧	八戸市教育委員会学芸員 県立農文化財調査センター 八戸市立高校教諭	
114	上尾駁2/I	自然環境 石質鑑定	遺跡周辺の地形と層序	小山陽造 赤沼英男 山口義伸 松山力	八戸工業高等専門学校教授 岩手県立博物館 県立八戸高校教諭	5点
115	上尾駁2/II	自然環境 石質鑑定	遺跡周辺の地形、遺跡周辺の地質と層序	小山陽造 赤沼英男 山口義伸 松山力	八戸工業高等専門学校教授 岩手県立博物館 県立八戸高校教諭	10点
116	発茶沢1/I	自然環境 石質鑑定	炭化材 年代測定	小山陽造 赤沼英男 山口義伸 松山力	八戸工業高等専門学校教授 岩手県立博物館 県立八戸高校教諭	2点
117	ニッ石 118 富ノ沢1・(1)・(2)	自然環境 石質鑑定	遺跡周辺の地形と層序	小山陽造 赤沼英男 山口義伸 松山力	八戸工業高等専門学校教授 岩手県立博物館 県立八戸高校教諭	15点
119	館野	自然環境 石質鑑定	遺跡周辺の地形と地質	小山陽造 赤沼英男 山口義伸 松山力	八戸工業高等専門学校教授 岩手県立博物館 県立八戸高校教諭	3点



集番号	遺跡名	種類	内容	分析名		分析者	備考
				内 容	内 容		
132	富ノ沢(1)・(2)	Ⅱ	石質鑑定	李沢遺跡の焼土熱殘留磁氣測定結果	山口義伸 県理歴文化財調査センター	平安時代カマド・製鉄炉 AD1000 ~ 1200 年頃	
133	富ノ沢(1)・(2)	Ⅲ	自然環境 地形・地質・層序	放射性炭素年代測定結果報告書	星和夫 県立田名部高校教諭	2点 内 1点不良	
134	中野平 縄文時代編	自然環境 地形・地質・層序	石質鑑定	放射性炭素年代測定結果報告書	村中健 ハ戸工業大学助教授	4点	
	古代編	繩文時代早期中葉の炭化堅果類	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土火土灰灰の蛍光 X 線分析	三辻一 奈良教育大学教授	3点	
		中野平遺跡出土土器胎土・須恵器胎土	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土火土灰灰の蛍光 X 線分析	三辻一 奈良教育大学教授	100点 半数は五所川原産、30点は新潟県小泊産	
		土器胎土	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土・須恵器胎土	三辻一 奈良教育大学教授	50点 3点を除き出来島産と判定	
		炭化米	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土・須恵器胎土	三辻一 奈良教育大学教授	77点 3点を除き出来島産と判定	
		黒曜石	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土・須恵器胎土	三辻一 奈良教育大学教授	33点 外部からの鉄素材の供給→砂鉄を原料とした一貫操業への移行と推察	
		鉄器他	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土・須恵器胎土	三辻一 奈良教育大学教授		
135	鬼沢(2)・尾上山(2)・(3)	Ⅱ	自然環境 地形・地質・層序	李沢遺跡出土土器胎土・須恵器胎土	鳴岡實 岸田武信 京都大学原子炉実験所	77点 3点を除き出来島産と判定	
136	雷・西山	自然環境 地形・地質・層序	石質鑑定	李沢遺跡出土土器胎土	鷹倉巳三郎 元奈良教育大学教授	77点 3点を除き出来島産と判定	
		炭化材	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土	赤沼英男 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		鉄器	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		土壌 (リン・脂肪酸)	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		分析	自然環境 地形・地質・層序	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
	向山(4)	自然環境 地形・地質・層序	石質鑑定	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		分析	火山灰 火山ガラス	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		樹種同定	火山灰・須恵器胎土	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		炭化材	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		鉄器	年代測定 14 C β線計数法	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		同定	炭化種子	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		分析	自然環境 地形・地質・層序	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
		産地同定	黒曜石	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	
137	雷ノ沢(2)IV	自然環境 地形・地質・層序	石質鑑定	李沢遺跡出土土器胎土	山口義伸 岩手県立博物館・東洋美術館	77点 3点を除き出来島産と判定	





集番号	遺跡名	種類	内容	分析名		分析者	備考
				内 容	分析名		
161	畠内 I	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 地形・地質・層序	家ノ前遺跡出土火山灰の蛍光X線分析 遺跡と周辺地域の地形・地質	松山力 八戸市文化財審議委員 三辻利一 松山力 八戸市文化財審議委員 松山力 八戸市文化財審議委員	松山力 八戸市文化財審議委員 三辻利一 松山力 八戸市文化財審議委員 松山力 八戸市文化財審議委員 松山力 八戸市文化財審議委員	17点
163	久米川	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 年代測定 14C β線計数法	遺跡周辺の地形・地質 畠内遺跡出土火山灰の蛍光X線分析 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	松山力 八戸市文化財審議委員 三辻利一 松山力 八戸市文化財審議委員 松山力 八戸市文化財審議委員 越耕彦 学習院大学教授 山口義伸 県立板柳高校教諭	松山力 八戸市文化財審議委員 三辻利一 松山力 八戸市文化財審議委員 松山力 八戸市文化財審議委員 4点 5点	56点 3点
164	塔ノ沢山(1)・大沢(1)	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 須恵器胎土 赤色顔料 年代測定 14C β線計数法	久米川遺跡出土須恵器の蛍光X線分析 久米川遺跡出土火山灰の蛍光X線分析 久米川遺跡出土赤色顔料の分析 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書 八戸工業大学放射性炭素年代測定結果について 久米川遺跡出土木製品の樹齢(第1次分) 久米川遺跡出土木製品(第2次分)	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 赤沼英男 岩手県立博物館専門学芸調査員 木越耕彦 学習院大学教授 村中健 八戸工業大学助教授 パリノ・サーウェイ(株) 鴨倉三郎 元奈良教育大学教授 パリノ・サーウェイ(株)	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 赤沼英男 岩手県立博物館専門学芸調査員 木越耕彦 学習院大学教授 村中健 八戸工業大学助教授 パリノ・サーウェイ(株) 鴨倉三郎 元奈良教育大学教授 パリノ・サーウェイ(株)	2点 3点 6点 48点
167	朝日山(3)	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 須恵器胎土 樹種同定 花被材	火山灰の蛍光X線分析 須恵器の蛍光X線分析 朝日山(3)遺跡出土炭化材の樹齢 遺跡周辺の地形・地質及び地質の基本層序	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	4点 16点 7点
168	黒森下(1)	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 年代測定 14C β線計数法	黒森下(1)遺跡出土の蛍光X線分析 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書 木根ノ木(1)	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	5点 5点
169	根ノ木(1)	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 年代測定 14C β線計数法	自然環境 火山灰 年代測定 14C β線計数法	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	2点 3点
170	松山・沢黒平(1)	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 年代測定 14C β線計数法	自然環境 火山灰 年代測定 14C β線計数法	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	15点 117点
171	山元(2)	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 年代測定 14C β線計数法	自然環境 火山灰 年代測定 14C β線計数法	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	50点 5点
172	野原(2)	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 年代測定 14C β線計数法	自然環境 火山灰 年代測定 14C β線計数法	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	2点 12点 4点
173	水木館	自然環境 石質鑑定 分析	火山灰 年代測定 14C β線計数法	自然環境 火山灰 年代測定 14C β線計数法	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 鴨倉巳三郎 元奈良教育大学教授 伊藤昭雄 県埋蔵文化財調査センター主査 木越耕彦 学習院大学教授	4点 5点







集番号	遺跡名	種類	内容	分析名	分析者	備考
224	十三ヶ瀬II	自然環境	層序	遺跡内の基本層序	山口義伸 県立板柳高校教諭	
230	三内丸山III	自然環境	地形・地質	調査区域の地形及び地質	山口義伸 県立板柳高校教諭	
232	岡町(2)	自然環境	地形・地質	遺跡周辺の地形及び地質	工藤一彌 県教育センター指導主事	
233	西張(2)	石質鑑定	炭化植物	西張(2)遺跡から出土した大型植物化石	山口義伸 県立板柳高校教諭	
234	野尻(1)	年代測定	14C β線計数法	大和田遺跡周辺の地質	新山強広 (株) ハロ・ラボ	付録として記載
235	大和田・吉山(3)・平窪(1)	自然環境	地形・地質・層序	寺山(3)・平窪(1)・(2)・伝法寺館跡周辺の地形及び地質	木越邦彦 学習院大学教授	3点
236	・平窪(2)・伝法寺館跡	年代測定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	元県立・ハ戸北高校教諭	
	大和田	石質鑑定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	木越邦彦 学習院大学教授	
236	幸畠(4)・(1)	分析	火山灰	火山灰の蛍光X線分析	松山力 ハ戸市文化財審議委員	
		年代測定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	三辻利一 奈良教育大学教授	2点
237	隈無(1)・(2)・(6)	自然環境	地形・地質・層序	遺跡周辺の地形及び地質	木越邦彦 学習院大学教授	2点
238	見立山(1)・弥次郎窪II	石質鑑定	炭化植物	周辺の地形・地質標要と遺跡の層序	山口義伸 県立板柳高校教諭	
	見立山	分析	14C β線計数法	遺跡の地形・地質と基本層序	松山力 ハ戸市文化財審議委員	
238	弥次郎窪	年代測定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	松山力 ハ戸市文化財審議委員	
		石質鑑定	14C β線計数法	放射性炭素年代測定結果報告書	松山力 ハ戸市文化財審議委員	
		分析	14C β線計数法	放射性炭素年代測定結果報告書	木越邦彦 学習院大学教授	
		分析	炭酸ガス	弥次郎窪遺跡における土坑の自然科学的検討	(株) サーヴェイ (株)	4点
		分析	脂肪酸	弥次郎窪遺跡から出土した遺構・遺物に残存する脂肪の分析	中野益男 埼玉県立農業大学	1点 捕正年代・歴年付き
239	新町野・野木	自然環境	地形・地質	新町野・野木遺跡の地形と地質	中野益男・菅原利佳・長田正宏 (株) ズコーシャ総合研究所	8基に亘る可能性
	新町野	石質鑑定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	松山力 ハ戸市文化財審議委員	11号土坑は男性遺体の可能性ありとの見解
240	野木・小奥戸(2)・(4)	年代測定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	木越邦彦 学習院大学教授	
		分析	火山灰	火山灰の蛍光X線分析	木越邦彦 学習院大学教授	
241	長谷	石質鑑定	炭化植物	小奥戸(2)遺跡から出土した大型植物化石	松山力 ハ戸市文化財審議委員	
		年代測定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	三辻利一 奈良教育大学教授	
		分析	火山灰	火山灰の蛍光X線分析	木越邦彦 学習院大学教授	
		分析	須恵器胎土	長谷遺跡出土の須恵器胎土分析	三辻利一 奈良教育大学教授	
		分析	燐酸・脂肪酸	長谷遺跡の平安時代土器埋設遺構の性格検討	木越邦彦 学習院大学教授	
242	外馬屋前田(1)	自然環境	地形・地質・層序	地形・地質と基本層序	三辻利一 奈良教育大学教授	
	外馬屋前田	石質鑑定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	三辻利一 奈良教育大学教授	
		分析	火山灰	外馬屋前田(1)遺跡出土火山区の蛍光X線分析	木越邦彦 学習院大学教授	
		分析	須恵器胎土	外馬屋前田(1)遺跡出土須恵器の蛍光X線分析	木越邦彦 学習院大学教授	
		同定	炭化植物	外馬屋前田(1)遺跡出土の植物遺体の同定	木越邦彦 (株)	
		分析	鉱物・鉱滓	外馬屋前田(1)遺跡出土は遺物の組成から見た鉱物活動	木越邦彦 岩手県立博物館専門学芸員	
		分析	赤色顔料	外馬屋前田(1)遺跡出土赤色岩石片の分析結果	赤沼英男 岩手県立博物館専門学芸員	
243	高屋敷館	自然環境	地形・地質・層序	遺跡周辺の地形及び地質	安山岩の風化→内部の鉄分の酸化→赤鉄鉱化	
		石質鑑定	年代測定	年輪年代	安山岩の風化による水化と板状木製品の年輪測定	
			樹種同定	高屋敷館遺跡出土木製品の樹種同定	山口義伸 県立板柳高校教諭	3点 1073年、1101年、1106年
			分析	高屋敷館遺跡出土木製品の蛍光X線分析	光谷拓実 奈良文化財研究所	13点
			分析	高屋敷館遺跡出土須恵器の蛍光X線分析	光谷拓実 奈良文化財研究所	11点
			分析	高屋敷館遺跡出土土師器の蛍光X線分析	三辻利一 奈良教育大学教授	30点
			同定	青森県高屋敷館遺跡出土の平安時代の植物種子	三辻利一 奈良教育大学教授	40点
			分析	青森県高屋敷館遺跡出土の平安時代の植物種子	赤沼英男 札幌国際大学	イネ、オオムギ、コムギ、アワ、ヒエ、キビ他
			同定	青森県高屋敷館遺跡出土の平安時代の植物種子	椿坂恭代 北海道大学理職文化財調査室	

集番号	遺跡名	種類	内容	分析名		参考
				分析	分析	
244	隠川④(12)	分析	銅製品	高屋敷館遺跡出土自在釘状製品の材質について	赤沼英男	岩手県立博物館専門学芸員
		分析	銅製品	高屋敷館遺跡出土鉄被破片の材質	赤沼英男	岩手県立博物館専門学芸員
		分析	銅製品・鉄滓	出土器物についての組成からみた高屋敷館遺跡における銅製造と 鉄器製作について	赤沼英男	岩手県立博物館専門学芸員
		分析	漆塗膜	高屋敷館遺跡出土木製焼色塗膜の断面構造	赤沼英男	岩手県立博物館専門学芸員
		年代測定	$14C$ $\beta$ 線計数法	高屋敷館遺跡放射性炭素年代測定結果報告書	1994年 分	4点
		年代測定	$14C$ $\beta$ 線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	1995年 分	5点
		自然環境	地形・地質・層序	遺跡の地形及び地質	木越利彦	学習院大学教授
		石質鑑定	火山灰	山口義伸	県立板柳高校教諭	
		分析	脂土	山口義伸	県立板柳高校教諭	
		分析	樹種同定	三辻利一	奈良教育大学教授	
245	水吉	分析	炭化木	三辻利一	奈良教育大学教授	
		分析	プラントオバール	鈴木三男	東北大學教授	
		同定	植物種子	(株) 古環境研究所	54点	
		自然環境	地形・地質・層序	(株) バレオ・ラボ		
		石質鑑定	火山灰	松山力	八戸市文化財審議委員	
		分析	脂土	松山力	八戸市文化財審議委員	
		年代測定	$14C$ $\beta$ 線計数法	木越利彦	八戸市文化財審議委員	
		自然環境	地形・地質	川村真一	元県立弘前工業高校校長	
		分析	火山灰	川村真一	元県立弘前工業高校校長	
		年代測定	$14C$ $\beta$ 線計数法	元県立弘前工業高校校長	3点	
246	白砂・大沢	分析	地形・地質	水吉・遺跡性炭素年代測定結果報告書	木越利彦	八戸市文化財審議委員
		分析	火山灰	遺跡周辺の地形と地質	川村真一	元県立弘前工業高校校長
		分析	火山灰	水吉・遺跡周辺における推定港湾施設を対象とした地下	鈴木和子	県文化課
		探査	レー探査	青森井良男・小島信人・前川要	富山大学	
		分析	火山灰	酒井良男・小島信人・前川要	富山大学	
		分析	火山灰	川村真一	元県立弘前工業高校校長	
		分析	火山灰	鈴木和子	元県立弘前工業高校校長	
		分析	火山灰	川村真一	元県立弘前工業高校校長	
		分析	火山灰	鈴木和子	元県立弘前工業高校校長	
		分析	火山灰	川村真一	元県立弘前工業高校校長	
248	十三湊Ⅲ	分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの調査	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの柱礎化石群	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの花粉化石群	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの大型植物化石群	吉川昌伸	国立歴史民俗博物館
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの柱礎化石群	南木勝彦	流通科学大学
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの花粉化石群	南木勝彦	流通科学大学
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの大型植物化石群	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの花粉化石群	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの大型植物化石群	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		分析	他	三内丸山遺跡第6鉄塔スタンダードコラムの花粉化石群	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
249	三内丸山Ⅸ 第2分冊	年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの調査	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの柱礎化石群	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの花粉化石群	吉川昌伸	国立歴史民俗博物館
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの大型植物化石群	南木勝彦	流通科学大学
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの花粉化石群	南木勝彦	流通科学大学
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの大型植物化石群	辻誠一郎	国立歴史民俗博物館
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの花粉化石群	吉川昌伸	国立歴史民俗博物館
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの大型植物化石群	南木勝彦	流通科学大学
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの花粉化石群	吉川昌伸	国立歴史民俗博物館
		年代測定	$14C$ AMS	三内丸山遺跡第6鉄塔第6鉄塔スタンダードコラムの大型植物化石群	南木勝彦	流通科学大学
250	三内丸山Ⅹ	分析	植物遺体	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土の鳥類・哺乳類遺体	森勇一	愛知県立明和高校
		分析	動物遺体	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土の魚類遺体(1)	森勇一	愛知県立明和高校
		分析	動物遺体	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土木材の樹種	西本豊弘	愛知県立明和高校
		分析	樹種同定	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土木材の樹種	能城修一	愛知県立明和高校
		分析	炭化材	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土炭化材の樹種	鈴木三男	東北大學附屬植物園
		分析	DNA	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土のクリのDNA分析	前田純子	東京都立大学学生
		分析	塗膜	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土木製品の赤色分光光度計分析	鈴木三男	東北大學附屬植物園
		分析	昆虫化石	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土の昆蟲化石	佐藤洋一郎	東北大學附屬植物園
		产地同定	炭化材	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土の黒曜石遺物の原材料产地	ジャコエンジニアリング(株)	愛知県立明和高校
		产地同定	黒曜石	三内丸山遺跡第6鉄塔地区出土の黒曜石遺物の原材料产地	森勇一	愛知県立明和高校
251	三内丸山Ⅺ	分析	自然環境	遺跡内の基本層序	山口義伸	県立板柳高校教諭
		分析	地層	遺跡内の基本層序	山口義伸	県立板柳高校教諭

集番号	遺跡名	種類	内容	分析名	分析者	備考
251	三内丸山X-1	石質鑑定 产地同定	黒曜石 分析 脂肪酸	三内丸山遺跡第6次調査区出土の黒曜石製遺物の原材产地 分析 三内丸山遺跡第7次調査第928号土坑の脂質分析	山口義伸 県立板柳高校教諭 栗哲男 京都大学原子炉実験所 パリノ・サーガエイ(株)	5点 遺体埋葬は想定できるが、断定できない
253	下馬坂 戸沢	石質鑑定 年代測定	14C β線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	松山力 ハ戸市文化財審議委員 木越邦彦 学習院大学教授	1点
254	安田(2)	石質鑑定			山口義伸 県立板柳高校教諭 山口義伸 県立板柳高校教諭 山口義伸 県立板柳高校教諭	
255	新納屋(1)	石質鑑定		遺跡周辺の地形及び地質	山口義伸 県立板柳高校教諭 山口義伸 県立板柳高校教諭 山口義伸 県立板柳高校教諭	
256	三内丸山(6)	自然環境 石質鑑定			山口義伸 ハ戸市文化財審議委員 パリノ・サーガエイ(株)	12点 2点
257	山下・上野尻 山下	石質鑑定 樹種同定 年代測定	木製品・炭化材 14C β線計数法	宮田地区山下遺跡から出土した木製品・炭化材の樹種 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書	木越邦彦 学習院大学教授 山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授	120点
258	野尻(1)	石質鑑定 年代測定	土器胎土 同定・年代	野尻(1)遺跡出土土器の黒曜石製遺物の原材产地分析および黒曜 石製遺物の非破壊分析による水和層の測定	栗哲男 京都大学原子炉実験所 山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 木越邦彦 学習院大学教授 (株)地図科学研究所 四柳嘉章 漆器文化財科学研究所 中野益男 富山畜産大学 中野繁子 皇后賀一 (株)ズコーシャ総合科学研究所 栗哲男 京都大学原子炉実験所 高橋利彦 「木工舎」「やい」	1点
259	隠川(1)I・(2)II 隠川(1)II 隠川(1)I 隠川(1)II	石質鑑定 分析 土器胎土 年代測定 14C β線計数法	火山灰 分析 出土土器の蛍光X線分析 炭化材の放射性炭素年代測定1 炭化材の放射性炭素年代測定2 漆塗壺形土器の科学的分析 遺構・遺物に残存する脂肪の分析	出土土器の蛍光X線分析 炭化材の放射性炭素年代測定1 炭化材の放射性炭素年代測定2 漆塗壺形土器の科学的分析 遺構・遺物に残存する脂肪の分析	山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 木越邦彦 学習院大学教授 (株)地図科学研究所 四柳嘉章 漆器文化財科学研究所 中野益男 富山畜産大学 中野繁子 皇后賀一 (株)ズコーシャ総合科学研究所 栗哲男 京都大学原子炉実験所 高橋利彦 「木工舎」「やい」	3点 45点 2点 1点
260	隠川(1)I・(2)II 隠川(1)II 隠川(1)I 隠川(1)II	石質鑑定 分析 土器胎土 年代測定 14C AMS	黒曜石 地同定 炭化材	黒曜石製遺物の原材产地分析 炭化材の樹種同定	栗哲男 京都大学原子炉実験所 山口義伸 県立板柳高校教諭 三辻利一 奈良教育大学教授 木越邦彦 学習院大学教授 栗哲男 京都大学原子炉実験所 高橋利彦 「木工舎」「やい」	17点 2点
261	十腰内(1) 隠川(1)I・(2)	石質鑑定 年代測定 14C AMS	材質 产地同定 黒曜石 王類 樹種同定 炭化材	十腰内(1)遺跡から出土した容器状物質の材質鑑定 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書 十腰内(1)遺跡出土黒曜石製遺物の原材产地分析 十腰地同定 弘前市十腰内(1)道路出土炭化材の樹種	山口義伸 岩手大学教育学部地学教室助教授 木越邦彦 学習院大学教授 栗哲男 京都大学原子炉実験所 高橋利彦 「木工舎」「やい」	5点 15点 19点 10点
262	烟内V	石質鑑定 年代測定 14C AMS	材質 产地同定 黒曜石 須恵器胎土 火山灰	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書 遺跡周辺の地形と地質	山口義伸 ハ戸市文化財審議委員 木越邦彦 学習院大学教授 栗哲男 京都大学原子炉実験所 高橋利彦 「木工舎」「やい」	4点 3点
263	樹引	自然環境 石質鑑定 年代測定 14C AMS	地形・地質 产地同定 黒曜石 須恵器胎土 火山灰	放射炭素年代測定結果報告書 柳引遺跡出土黒曜石製遺物の原材产地分析 火山灰の蛍光X線分析	七崎修 元県立八戸高校教諭 栗哲男 京都大学原子炉実験所 高橋利彦 「木工舎」「やい」	5点 8点
264	野木II	石質鑑定 年代測定 14C AMS	土器胎土 同定 プラントオバール	土器の蛍光X線分析 放射炭素年代測定結果報告書 プラントオバール分析、花粉分析	松山力 ハ戸市文化財審議委員 三辻利一 奈良教育大学教授 (株)地図科学研究所 鈴木茂 (株)パレオ・ラボ	60点 4点
266	高岩(1)・(2)・白蛇(1)・鳥河岸	石質鑑定 探査		地中レーダ探査による青森県十三溪遺跡の 地中レーダー探査による青森県十三溪遺跡の 地中レーダ探査	山口義伸 県立板柳高校教諭 酒井英男 県立板柳高校教諭 栗村成宏・栗唯敬・前川要 富山 大学、工藤忍 県文化課	
268	十三溪IV				山口義伸 県立板柳高校教諭	
269	三内丸山(5)	自然環境 石質鑑定	地形・地質	遺跡周辺の地形及び地質	山口義伸 県立板柳高校教諭	
270	大矢沢野田(1)	自然環境 石質鑑定	地形・地質	遺跡周辺の地形及び地質について	山口義伸 県立板柳高校教諭	

集番号	遺跡名	種類	内容	分析名	分析者	備考
271	モダシ平	石質鑑定 植生	花粉化石	大矢・沢田(1)遺跡の編文時代以降の植生史 一花粉化石群にもこづく植生復元と変遷史 モダシ平遺跡周辺の地形と地質	山口義伸 県立板柳高校教諭 古代の森研究会 佐々木辰雄 県立八戸南高校教諭 佐々木辰雄 県立八戸南高校教諭	
272	柳引(1)	自然環境 石質鑑定	地形・地質・層序	遺跡周辺の地形・地質	松山力 ハ戸市文化財審議委員 佐々木辰雄 県立八戸南高校教諭 パリノ・サーザイ (株)	9点 奈良時代焼失住居部材 すべてコナラ 1点
273	丹内	石質鑑定 樹種同定	地形・地質・層序 炭化材	丹内遺跡から出土した炭化材の樹種 放射性炭素年代測定結果報告書	松山力 ハ戸市文化財審議委員 (株) 地球科学研究所	9点 奈良時代焼失住居部材 すべてコナラ 1点 同位体の比率も記載
274	山下II・米山(2)	石質鑑定 年代測定	14 C $\beta$ 線計数法	学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書 周辺の地形と地質	木越邦彦 学習院大学教授 工藤一彌 県総合学校教育センター 松山力 ハ戸市文化財審議委員 (株) 地球科学研究所	1点 同位体の比率も記載
275	新町野	石質鑑定 樹種同定	14 C AMS	新町野遺跡出土炭化材の放射性炭素年代測定 新町野遺跡出土炭化材の樹種	高橋利彦 大工舍「ゆい」 三辻利一 素良教育大学 三辻利一 素良教育大学 広岡公夫・遠坂ゆかり・巽雅歌	4点 3点 7点 12点
276	畠内VI	石質鑑定		新町野遺跡出土灰山灰 新町野遺跡出土須恵器の蛍光X線分析 新町野遺跡の考古地磁気学的研究	富山大学地質科学教室	
277	野尻(1)III	石質鑑定 分析 分析 分析	火山灰 土器胎土 脂肪酸 花粉	火山灰の蛍光X線分析 土器の蛍光X線分析 第301号井戸跡出土木材の樹種同定 第301号井戸跡出土土器の同定	山口義伸 県史編纂室総括主幹 三辻利一 素良教育大学 三辻利一 素良教育大学 中野益男 帯広畜産大学 (株)ズコーシャ総合科学研究所 中野寛子・清水了・門利恵・星山賢一 (株)ズコーシャ総合科学研究所 (株)古環境研究所 (株)古環境研究所 赤沼英男 岩手県立博物館	16点 須恵器・土器器・繩文土器・粘土など 117点 ヒト遺体の直接埋納の脂肪と類似している 2点 9点
278	餅ノ沢	石質鑑定 地同定 地同定 地同定 分析	14 C AMS 種差 プラントオバール 花粉 種実	放射性炭素年代測定結果報告書 第301号井戸跡出土木材の樹種同定 第301号井戸跡出土土器の同定 第301号並列溝状遺構のプラントオバール分析 第301号並列溝状遺構における花粉分析 第301号並列溝状遺構における種質同定	山口義伸 県史編纂室総括主幹 斎藤由美子 県埋蔵文化財調査センター 木越邦彦 学習院大学教授 中野益男 帯広畜産大学 (株)ズコーシャ総合科学研究所 中野寛子・清水了・門利恵・星山賢一 (株)ズコーシャ総合科学研究所 赤沼英男 岩手県立博物館	21点 4点 2点はヒトの骨のみの埋葬、3点はヒト遺体の直接埋納の脂肪に類似している 6点
279	三内丸山(6)II 第一分冊 第二分冊	石質鑑定 分析 同定 年代測定 分析	土器塗膜 炭化種子 脂肪酸	餅ノ沢遺跡出土黒曜石・安山岩 餅ノ沢遺跡出土玉類の産地分析 餅ノ沢遺跡から出土した遺構に残存する脂肪の分析 餅ノ沢遺跡出土土状物質の自然科学的調査結果 青森県三内丸山(6)遺跡出土の土器外面に見られる塗膜について 学習院大学放射性炭素年代測定結果報告書 三内丸山(6)遺跡出土の黒曜石製造物の原材料产地分析	山口義伸 県史編纂室総括主幹 (株)吉田生物研究所 斎藤由美子 県埋蔵文化財調査センター 木越邦彦 学習院大学教授 中野益男 帯広畜産大学 (株)ズコーシャ総合科学研究所 松山力 ハ戸市文化財審議委員 (株)ズコーシャ総合科学研究所 赤沼英男 岩手県立博物館	漆膜 下地塗り無し・未精製の漆の1回塗り 付章に記載 4点 極正年代値 ± 13 C 値も記載 ヒト遺体の埋納による脂肪に類似 21号土坑はヒト女性の埋葬の可能性あり 2点
280	砂子	自然環境 产地同定	地形・地質・層序 火山灰	砂子遺跡と周辺地域の地形・地質 放射性炭素年代測定結果報告書 出土遺物の組成からみた砂子遺跡における鉢器製作とその 使用	三内丸山(6)遺跡出土の黒曜石製造物の原材料产地分析 松山力 ハ戸市文化財審議委員 (株)ズコーシャ総合科学研究所 赤沼英男 岩手県立博物館	9点 2点 8点





集番号	遺跡名	種類	内容	分析名	分析者	備考
307	三内丸山(6)II	同定	アスファルト 琥珀	青森県三内丸山(6)遺跡出土アスファルトの成分分析 三内丸山(6)遺跡出土琥珀分析報告書	小笠原正明 北海道高等機能開発総合センター 元興寺高等学校 八戸市文化財調査委員 高橋利彦 大工舎「ゆい」	秋田県二ッ井産 久慈及びいわき産に最も近いが產地を限定できない
308	畠内VII	同定	炭化材 黒曜石 土器胎土 炭化種子 獸骨・魚骨 プランクトオバール・花粉 年代測定 石質鑑定	南郷村烟内遺跡第126号住居跡出土炭化材の樹種 烟内遺跡出土黒曜石製石器の原材料地分析 烟内遺跡出土古代より中期編織土器の蛍光X線分析研究 烟内遺跡出土古代より中期編織土器の蛍光X線分析 烟内遺跡から出土した動物遺存体 第1号・乾ばつ遺跡の自然科学的分析 放射性炭素年代測定結果報告書	松山力 八戸市文化財調査委員 マーカー・ホール 新潟県立歴史博物館 齋藤由美子 小林利彦 (株)古環境研究所	2点 5点 72点 6種14点を確認 2点
311	長溜池	探査	音波探査	十三ヶ湊地区での音波探査実験について	佐藤巧 県史編纂室総括主幹 山口義伸 杉本恒美 相模原市大学工学部 山口義伸 三辻利一 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	秋田県二ッ井産 久慈及びいわき産に最も近いが產地を限定できない 5点 72点 6種14点を確認 2点
312	十三ヶ湊VI	探査	音波探査	十三ヶ湊地区での音波探査実験について	佐藤巧 県史編纂室総括主幹 山口義伸 杉本恒美 相模原市大学工学部 山口義伸 三辻利一 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	秋田県二ッ井産 久慈及びいわき産に最も近いが產地を限定できない 5点 72点 6種14点を確認 2点
313	隈無(8)	土器胎土 人骨	土器胎土 人骨	隈無(8)遺跡出土土器の蛍光X線分析 隈無(8)遺跡出土火山灰 青森県五所川原市隈無(8)遺跡出土人骨について	山口義伸 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	ウマ地 7点 13点 11点 45点 50点 近世漆器 3点
314	小奥戸(4)II	樹種同定 分析	漆膜	隈無(8)遺跡出土の動物遺存体 隈無(8)遺跡出土人骨における放射性炭素年代測定 炭化物・木製品・動物遺存体の放射性炭素年代測定 隈無(8)遺跡の近世土坑の内容物について 隈無(8)遺跡出土木製品の樹種 青森県隈無(8)遺跡出土木製品の樹種 青森県隈無(8)遺跡出土漆器の塗膜分析	山口義伸 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	ウマ地 7点 近世の人骨の14C年代測定 13点 近世の試料の14C年代測定 11点 45点 50点 近世漆器 3点
315	近野VI	樹種同定 分析	木製品	青森市近野遺跡出土木の樹種	山口義伸 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	ウマ地 7点 近世の人骨の14C年代測定 13点 近世の試料の14C年代測定 11点 45点 50点 近世漆器 3点
316	朝日山(2)III	自然環境 石質鑑定	地形・地質・層序	遺跡周辺の地形と地質	山口義伸 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	3種の土坑・遺体など動物性のものが埋納された可能性あり 補足として記載
317	蟹沢(3)・黒坂II	石質鑑定	人骨	土坑の内容物に関する自然科学的分析	山口義伸 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	3種の土坑・遺体など動物性のものが埋納された可能性あり 補足として記載
318	筆ノ沢(3)II	石質鑑定	自然環境 石質鑑定	野辺地蟹田(10)遺跡及び向田(8)・(9)遺跡周辺の地形と地質	山口義伸 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	3種の土坑・遺体など動物性のものが埋納された可能性あり 補足として記載
319	野辺地蟹田(10)・向田(8)・(9)	石質鑑定	自然環境 石質鑑定	遺跡の地形及び地質	山口義伸 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	3種の土坑・遺体など動物性のものが埋納された可能性あり 補足として記載
320	野尻(1)IV	土器胎土 分析	火山灰 火山灰 14C AMS 樹種同定 分析	野尻(1)遺跡出土繩文土器の蛍光X線分析 風倒木遺跡取火山灰の蛍光X線分析 出土炭化物の放射性炭素年代測定結果 浪岡町野尻(1)遺跡出土炭化材の樹種 第43・414号土坑出土赤褐色物質混在土壤の自然科学的 調査結果 遺跡内土壤の自然科学的分析結果	山口義伸 三辻利一 奈良教育大学 奈良教育大学 鈴木敏彦 川久保善智・澤田純明 佐伯忠子・百々幸雄 藤原弘明 米田穎 (株)国立環境研究所 (株)地球科学研究所 (株)サーキュエイ(株) (株)古環境研究所 汐見真(株)吉田生物研究所 岡田文男 (株)吉田生物研究所 松山力 八戸市文化財調査委員	52点 2点 11点 10点 6点 以下4種セットの分析 1点 測定機関が不明 5点
		分析	火山灰 14C 分析	野尻(1)遺跡における放射性炭素年代測定 野尻(1)遺跡における放射性炭素年代測定 野尻(1)遺跡における花粉分析	赤沼英男 岩手県立博物館 (株)古環境研究所	

集番号	遺跡名	種類	内容	分析名	分析者	備考
321	安田(2)Ⅲ	自然環境 石質鑑定 分析	土壤・脂肪 地形・地質・層序	野尻(1)遺跡出土繩文時代後期墳土器の内容物について 安田(2)遺跡周辺の地形及び地質について	パリノ・サーヴェイ(株)	土壌理化分析 脂肪酸分析
		分析 火山灰 分析	須恵器胎土 土器胎土	安田(2)遺跡出土火山灰の蛍光X線分析 安田(2)遺跡出土須恵器の蛍光X線分析	山口義伸 県立文化財審査会幹事 松山力 八戸市文化財審査委員	
		分析 樹種同定 分析	炭化木材 鐵製品・鉄滓	安田(2)遺跡出土須恵器の蛍光X線分析 安田(2)遺跡出土土炭化材の樹種 青森市安田(2)遺跡出土土炭化材の樹種 鐵製品の組成からみた安田(2)遺跡における 鐵・鐵器生産活動	三辻利一 大谷女子大学 三辻利一 吉川綾子 古代の森研究会 高橋利彦 大工舍「ゆい」 赤沼英男 岩手県立博物館 (株) 地球科学研究所	28点 25点 5点 25点 3点
322	宮田館	年代測定 石質鑑定 分析	年代測定 土壤・地質・層序 火山灰 土器胎土 人骨	遺跡及び周辺の地形と地質 火山灰の蛍光X線分析 土器の蛍光X線分析 宮田館遺跡出土焼骨について	工藤一彌 岩手県総合学校教育センター 佐々木辰雄 県立八戸南高校教諭 三辻利一 大谷女子大学 三辻利一 仙台医療技術専門学校 永良館史 東北大医学院 (株) 古環境研究所 (株) 古環境研究所 パリノ・サーヴェイ(株) (株) 地球科学研究所	2点 10点 焼骨片 数十点
		分析 同定 分析	火山灰 プラントオバール 花粉	青森県、宮田館遺跡における火山灰試料の屈折率測定 青森県、宮田館遺跡におけるプラントオバール分析 青森県、宮田館遺跡における花粉分析 炭化木材の樹種同定	沢田純明 東北大医学院 (株) 古環境研究所 (株) 古環境研究所 パリノ・サーヴェイ(株) (株) 地球科学研究所	7点 12点 8点 10点
323	上野尻Ⅲ	石質鑑定 年代測定 分析	14C AMS 14C β線計数法 樹種同定	出土炭化材の放射性炭素年代測定 第366-365号土坑、第471号ヒットの自然科学的分析 放射性炭素年代測定 樹種同定	松山力 八戸市文化財審査委員 (株) 地球科学研究所	2点 2点 12点
		分析 種実 分析	プラントオバール リン・カルシウム 換土	種実遺体同定 土壤珪酸体分析 X線回折分析 分析	パリノ・サーヴェイ(株)	以下6種セットの分析 測定一加速器分析研究所
324	朝日山(2)Ⅳ	自然環境 石質鑑定 分析	14C AMS 火山灰 分析	遺跡の地形と地質・基本層序 朝日山(2)遺跡の放射性炭素年代測定結果報告	島口天 県立郷土館 佐々木辰雄 県立八戸南高校教諭 (株) 地球科学研究所	
		分析 分析 分析	須恵器胎土 土壤・脂肪酸 植物遺体(植物珪酸体)	朝日山(2)遺跡出土火山灰の蛍光X線分析 朝日山(2)遺跡出土須恵器の蛍光X線分析 朝日山(2)遺跡の土壤理化分析・脂肪酸分析 朝日山(2)遺跡における平安時代の植物利用 朝日山(2)遺跡の珪藻灰石分析・赤外線分光分析 朝日山(2)遺跡出土木の樹種 朝日山(2)遺跡のプラントオバール・花粉分析 出土鐵器遺物の組成からみた朝日山(2)遺跡における鉄器 生産活動	三辻利一 大谷女子大学 三辻利一 大谷女子大学 パリノ・サーヴェイ(株) パリノ・サーヴェイ(株) パリノ・サーヴェイ(株) 高橋利彦 木工舎「ゆい」 (株) 古環境研究所	4点 10点 57点 6基の土坑内土壤 5基が遺体埋納の可能性あり 戸戸・住居跡出土の種実 製塗土器・石器付着の黒色物質 5点 30点 16点
325	朝日山(2)Ⅴ	石質鑑定 分析	火山区 分析	朝日山(2)遺跡出土火山灰の蛍光X線分析 伯牙琴鏡の鉛同位体比	赤沼英男 岩手県立博物館 佐々木辰雄 県立八戸南高校教諭 三辻利一 奈良教育大学(依頼時)	19点
		分析 分析 分析	銅鏡 漆 鐵製品・鉄滓	漆器の金布構造分析 鐵製品の定性定量分析 朝日山(2)遺跡出土木のプラントオバール分析 朝日山(2)遺跡出土木材の樹種 木製品の樹種調査結果	(株) 吉田生物研究所 (株) 古環境研究所 (株) 地球科学研究所 高橋利彦 大工舍「ゆい」 汐見真(株) 吉田生物研究所 岡田文男 京都造形芸術大学 松山力 八戸市文化財審査委員 松山力 八戸市文化財審査委員	20点 錫状2点、鉄刀1点 7点 掘立柱建物跡の柱根3点 曲物 1点
326	畠内Ⅷ 1分冊	自然環境 石質鑑定	地形ほか	遺跡付近の地形・地質と理沒土石流	松山力 八戸市文化財審査委員	

